



2022年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2022年2月3日

上場会社名 株式会社フォーラムエンジニアリング 上場取引所 東
 コード番号 7088 URL <https://www.forumeng.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐藤 勉
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 秋山 輝之 TEL 03 (3560) 5505
 四半期報告書提出予定日 2022年2月4日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第3四半期の業績 (2021年4月1日～2021年12月31日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第3四半期	20,086	△4.6	1,393	△31.1	1,377	△31.6	936	△31.6
2021年3月期第3四半期	21,060	△13.6	2,021	△44.5	2,014	△42.3	1,368	△29.8

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第3四半期	36.49	36.22
2021年3月期第3四半期	51.39	51.13

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第3四半期	19,505	11,639	59.7
2021年3月期	20,893	12,070	57.8

(参考) 自己資本 2022年3月期第3四半期 11,639百万円 2021年3月期 12,070百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	0.00	—	48.00	48.00
2022年3月期	—	0.00	—	—	—
2022年3月期 (予想)	—	—	—	48.00	48.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2022年3月期の業績予想 (2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	27,850	0.4	1,820	△22.6	1,790	△21.3	1,220	△9.3	47.29

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 6「2. 四半期財務諸表及び主な注記(3) 四半期財務諸表に関する注記事項(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年3月期3Q	26,709,600株	2021年3月期	26,709,600株
② 期末自己株式数	2022年3月期3Q	1,015,224株	2021年3月期	910,200株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2022年3月期3Q	25,671,590株	2021年3月期3Q	26,636,601株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通しなどの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第3四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	6
(セグメント情報等)	6
3. その他	6
継続企業の前提に関する重要事象等	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間（2021年4月1日～2021年12月31日）におけるわが国の経済は、新型コロナウイルス感染症による厳しい状況が緩和される中で景気は持ち直しの動きが見られるものの、新たな変異株の発生により先行きは不透明な状況が続いております。当社の主要顧客である大手製造業においては、原材料価格の高騰や半導体不足に始まる部品の供給不足等の影響を受けておりますが、回復の兆しが見え始めております。

このような環境の下、当社は当第3四半期累計期間において、業績の早期回復に向けての準備に取り組んでまいりました。主力のエンジニア派遣サービスでは、期初より増加が続く稼働人員数が10月以降、3か月連続で前年同月を上回り、稼働率もコロナ禍以前の水準に到達し、待機となっていた派遣エンジニア社員数も、前第3四半期末時点に比べ大幅に減少いたしました。新型コロナウイルス感染症の影響を受け減少したエンジニア派遣サービスの案件数は、コロナ禍前の水準には戻っていないものの、9月末に緊急事態宣言等が解除され、営業活動の正常化に伴い、上昇に転じております。

以上の結果、当第3四半期累計期間の売上高は20,086百万円（前年同期比4.6%減）、営業利益は1,393百万円（同31.1%減）、経常利益は1,377百万円（同31.6%減）、四半期純利益は936百万円（同31.6%減）となりました。コロナ禍の影響が残る中、稼働人員数の増加が続き、原価率の悪化要因となるエンジニア派遣サービスにおける待機者の解消が順調に進んだことや、派遣単価水準の維持等により、業績回復に向けた取り組みの成果が見え始めております。

また、当社は、我が国が現在直面している構造的なエンジニア不足の環境において、AI（人工知能）を活用した当社独自のスキルマッチング技術「コグナビ」各サービスの浸透と拡充に取り組んでおります。

エンジニア派遣サービス「コグナビ 派遣」は、第2四半期末時点で待機者数を大幅に減少できたことから、当第3四半期会計期間より中途採用の強化並びに来期に向けて新卒採用を再開し、回復基調にある顧客企業の需要に応えるべく、人材確保に注力しております。

中途採用向けエンジニア紹介サービスである「コグナビ 転職/転職IT」は、ターゲット事業所の求人需要を的確に把握することに努め、求人獲得に向けた顧客企業へのアプローチを強化しております。

理工系学生のための就職支援サービスである「コグナビ 新卒」は、サービスを利用して企業に採用された学生数が当第3四半期末時点で前年度の年間採用者数の4倍以上となりました。大手企業中心に新卒採用意欲が拡大していることや、当社営業スタッフによる就職活動中の学生のサポートにより、今後も「コグナビ 新卒」を理工系学生の学びに直結した就職支援サービスとして定着を図ってまいります。

エンジニア育成の研修を大学で実施するために両者の連携をサポートするサービス「コグナビ カレッジ」は、研修受け入れ先として当第3四半期末時点で既に複数大学と契約を締結しております。さらに、新規契約締結に向けて大学と協議を進めております。

企業内エンジニア配置最適化サービスである「コグナビ タレントマネジメント」では、利用契約を企業単位だけでなく技術部門など部署単位でも利用していただけるサービスを昨年夏から導入した結果、導入企業及び導入検討中の企業が増加しております。

なお、当社はエンジニア派遣・紹介事業の単一セグメントであるため、セグメント毎の業績の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期会計期間末における流動資産は16,441百万円となり、前事業年度末に比べ1,660百万円減少いたしました。これは、主に現金及び預金が1,473百万円減少したことによるものであります。固定資産は3,063百万円となり、前事業年度末に比べ271百万円増加いたしました。これは、主に無形固定資産が292百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は19,505百万円となり、前事業年度末に比べ1,388百万円減少いたしました。

(負債)

当第3四半期会計期間末における流動負債は7,865百万円となり、前事業年度末に比べ957百万円減少いたしました。これは、賞与引当金が771百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は7,865百万円となり、前事業年度末に比べ957百万円減少いたしました。

(純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産合計は11,639百万円となり、前事業年度末に比べ431百万円減少いたしました。これは、主に配当金の支払いにより利益剰余金が310百万円減少したことによるものです。

この結果、自己資本比率は59.7%（前事業年度末は57.8%）となりました。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年5月13日の「2021年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2021年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2021年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	14,297	12,824
受取手形及び売掛金	3,457	3,395
その他	346	222
流動資産合計	18,101	16,441
固定資産		
有形固定資産	509	474
無形固定資産		
ソフトウェア	763	525
その他	132	662
無形固定資産合計	895	1,188
投資その他の資産	1,386	1,400
固定資産合計	2,791	3,063
資産合計	20,893	19,505
負債の部		
流動負債		
短期借入金	5,000	5,000
未払金	1,041	913
未払法人税等	338	52
賞与引当金	1,477	706
役員賞与引当金	—	4
その他	965	1,188
流動負債合計	8,823	7,865
負債合計	8,823	7,865
純資産の部		
株主資本		
資本金	117	117
資本剰余金	129	129
利益剰余金	12,666	12,355
自己株式	△842	△963
株主資本合計	12,070	11,639
純資産合計	12,070	11,639
負債純資産合計	20,893	19,505

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
売上高	21,060	20,086
売上原価	14,527	14,125
売上総利益	6,532	5,960
販売費及び一般管理費	4,511	4,567
営業利益	2,021	1,393
営業外収益		
受取配当金	0	0
受取手数料	1	1
還付加算金	0	—
助成金収入	2	8
その他	0	0
営業外収益合計	5	10
営業外費用		
支払利息	7	9
シンジケートローン手数料	1	1
支払手数料	3	15
営業外費用合計	12	26
経常利益	2,014	1,377
税引前四半期純利益	2,014	1,377
法人税等	646	440
四半期純利益	1,368	936

（3）四半期財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

（税金費用の計算）

税金費用については、当第3四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（会計方針の変更）

（収益認識に関する会計基準等の適用）

「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。）等を第1四半期会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額はありません。

また、当該会計方針の変更による影響はありません。

（セグメント情報等）

当社は、エンジニア派遣・紹介事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。